

KAP平ブラシ圧調整方法

<KAP平ブラシ圧調整方法>

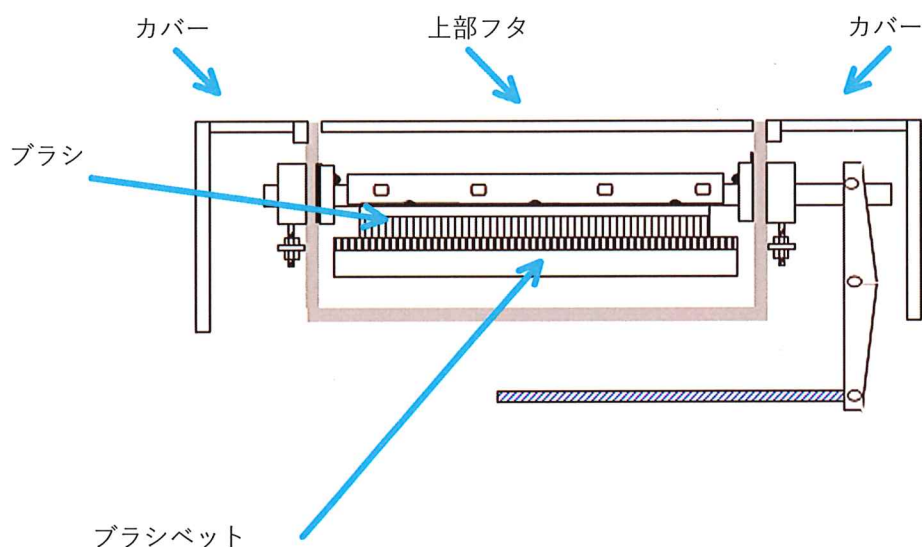
KAP-T、ACT、ACS、ACHシリーズ

ブラシは使用していくとブラシの毛先が摩耗し、ブラシ圧が変わりますのでブラシ圧を適宜調整します。

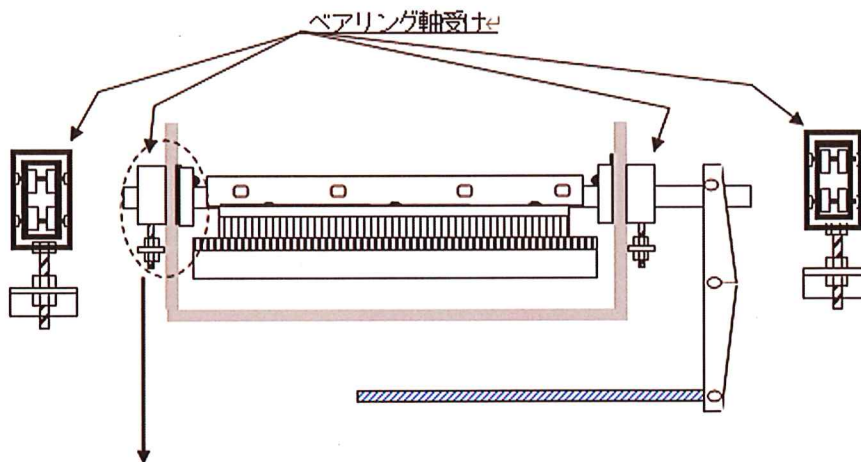
1.メイン電源をOFFにします。

(メイン電源を入れたままにしている場合、突然動き始めケガの恐れがありますので必ず電源をOFFにて下さい)

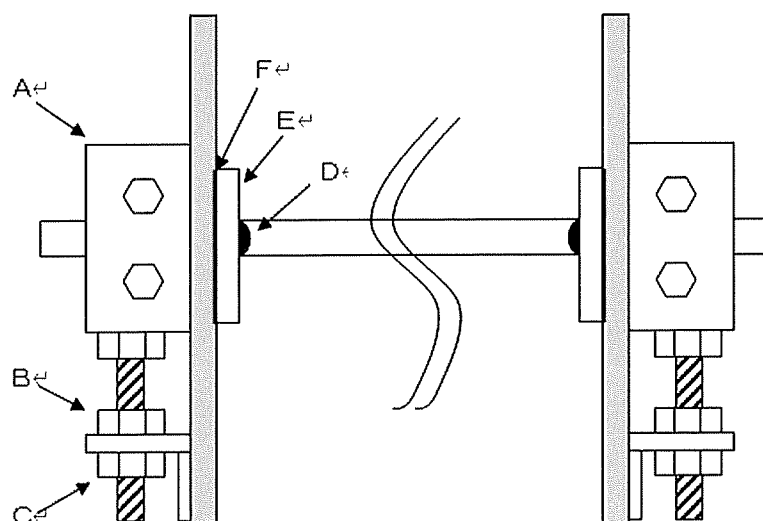
2.両サイドのカバーを持ち上げて外します。上部のフタを外します。



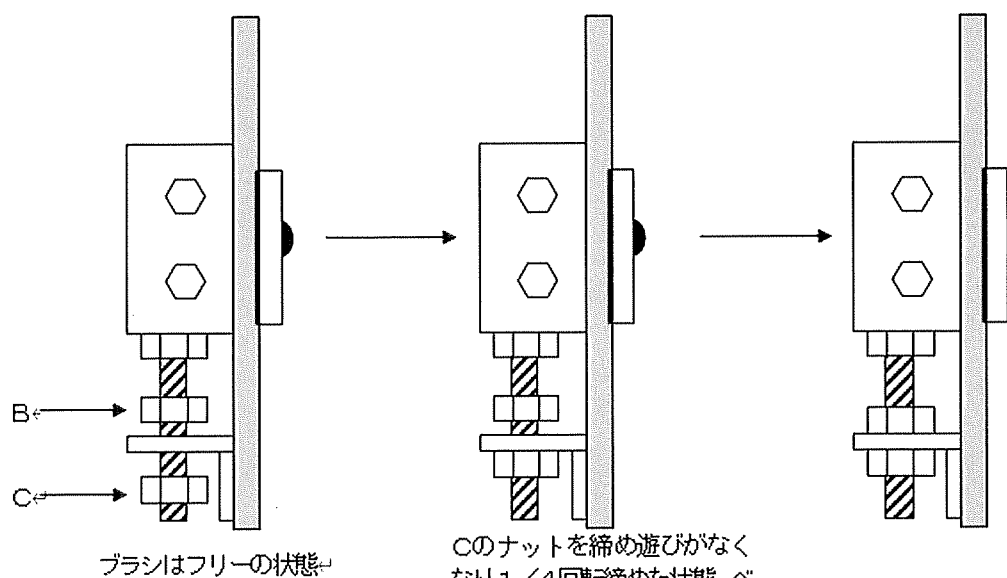
3.ブラシ圧調整は、下図ブラシ両サイドにあるベアリング軸受けを上下に調整しておこないます。



(拡大図)

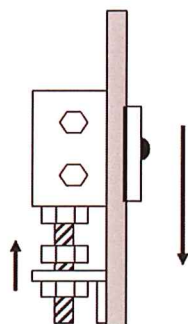


4. 上図B、Cの軸受け固定用ナットをスパナで緩め、さらに手で遊びが出来るまで十分に緩めます。
(両サイド共に起こなう)
5. Dのネジを緩め、補助板EとパッキンFをフリーにして下さい。
6. この時、ブラシは自重でブラシ台にのっている状態になります。この状態でCのナットを手で締めていき遊びがなくなった所でこれから1/4回転程ナットを締めます。
7. Bのナットを締めスパナで固定します。
8. 補助板EとパッキンFをフラットバーに当たらない様にネジDで固定します。

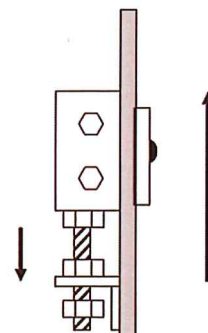


(補足)

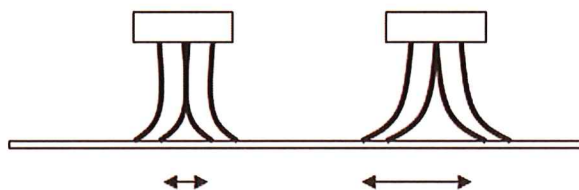
ブラシ圧を強める場合はBのナットを上げCのナットを締めて下さい。⇐



ブラシの圧を弱める場合はCのナットを下げBのナットを締めて下さい。⇐



9. ブラシの触れ幅はなるべく小さく毛先がゆるる状態に調整して下さい。インキの落ち具合が変わってしまいます。
10. ブラシの圧の調整後、必ず版を通して版の送り状況を確認して下さい。圧が強すぎると、毛先のゆるれ幅が大きくなり抵抗が大きくなる為、版の送りが悪くなりますので注意して下さい。



11. ブラシ圧を調整後、どうしてもインキが落ちにくい部分が発生する可能性があります。このような場合、スペーサーをブラシと固定金具の間に挟みこんで部分的に圧を調整します。スペーサーがない場合は、代用品としてアルミ版を切って使用して下さい。

